



鹿屋市

No.25

2019年7月発行

ファミリー・サポート・センター だより



元気に育てほしい、もっと楽しく子育てがしたい、少しでも誰かに手助けしてほしい……。子育ては思う様にいかないこともたくさんありますよね。困った時に〇〇さんに連絡してみよう!! そんなつながりがあれば、どうでしょう! 今より少しは安心して子育てができるかもしれません。ファミリー・サポート・センターは、そんなつながりをこれからも応援します。

活動風景です



送迎中

どれどれ!
次は何で遊ぼうかな?



2018/10/16



わっせ可愛い〜がね〜



寝顔って癒される〜



初めてのお願い〜



お迎え来ましたよ〜



一緒に食べましょ!



なんの絵本かな〜

全体交流会 9月21日(金)鹿屋市社会福祉会館にて(38名参加)

♥音楽で楽しくコミュニケーションをとりましょう♥



～音楽をとおして子どもたちと一緒に、体や脳を使い、笑い、楽しみ、そして和やかにふれ合いました～



日本音楽療法学会認定
音楽療法士 坂中 慈子氏



♥体験発表

利用会員さんとサポート会員さんの体験をお話していただきました。

♥グループで情報交換

子育ての悩みや気になること、話はつきません。

フォローアップ講習会11月27日(火)
リナシティかのやにて(34名出席)

◆発達障害への理解と支援◆
～共生社会を目指して～



・障害なのかどうなのか、ということより、その人の持っている「特性」を理解して、うまくかわっていくことが大切です。

鹿児島県子ども総合療育センター
地域支援専門監 田邊 貴仁氏



講習会 年3回
リナシティかのやにて

●会員になるための講習会です●

第1回講習会 H30.5.22(火)
第2回講習会 H30.9.12(水)
第3回講習会 H31.2.17(日)

3回の講習会で合計24名の方が入会されました。



～会員さんからの声をお届けします～

たまに利用しているだけなんですけど、子どもが“明日も来てね”って、サポート会員さんに言っていました。(笑)



“転居することになりました。利用はしませんでしたけど、この会員証があったので安心して子育てをすることができました。ありがとうございました。”と言って会員証を持って、センターに退会のご挨拶に来所されました。



お産のあとの家事援助で、サポートに入りました。自分の家では何も考えずにご飯を作るんですが…。サポートに入るときには“薄く味付けをしておくので、食べる時に好みに応じて調味料を足してくださいね”って伝えるようにしています。



お子さんを預かって、お母さんと別れる時は、なんとか泣かずに済んだのですが、ふとした時にお母さんを思い出してしまい、それからは泣いていました。お母さんがお迎えに来られた時には、泣き疲れて眠ってしまいました。



平成30年度活動状況

活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保育施設の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり	1	6						1				39	47
保育施設までの送迎	2							1	2			26	31
放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり												3	3
学校の放課後の子どもの預かり													0
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり													0
買い物等外出の際の子どもの預かり	11	10	5	1		1	5	11	1	3	12	8	68
家事援助	4			13	2	1	24		1	6	3	7	61
習い事等の送迎	9	11	9	8	5	12	25	19	16	16	17	15	162
その他	14	4	23	12	8	21	15	8	12	24	12	17	170
合計	41	31	37	34	15	35	69	40	32	49	44	115	542

平成30年度会員数(平成31年3月末現在)

利用会員	350名
サポート会員	283名
両方会員	50名
合計	683名

平成30年度の活動は、その他が全体の31%、習い事の送迎が30%、買い物等外出の際の子どもの預かりが13%となりました。その他の内訳は、療育施設までの送迎や、療育施設での見守り、学校から自宅への送迎等でした。

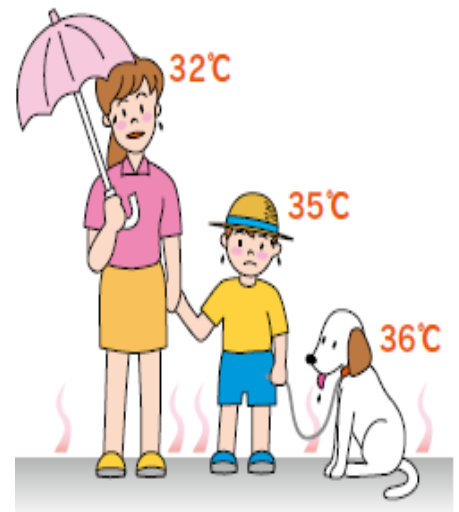
子どもの熱中症について

★幼児は特に注意！

気温が高い日に散歩等をする場合、身長の低い幼児は大人よりも危険な状態になります。

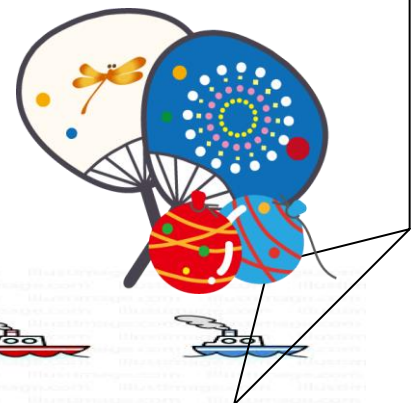
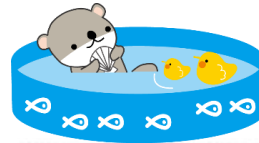
その理由は晴天時には地面に近いほど気温が高くなるからです。通常気温は150cmの高さで測りますが、東京都心で気温が32.3℃だったとき、幼児の身長である50cmの高さでは35℃を超えています。また、さらに地面に近い5cmは36℃以上でした。

大人が暑いと感じている時は、幼児はさらに高温の環境にいることになります。



★子どもの熱中症を防ぐポイント

- ① 顔色や汗のかき方を十分に観察しましょう。
- ② 適切な飲水行動を学習させましょう。
- ③ 日頃から暑さに慣れさせましょう。
- ④ 服装を選びましょう。



厚生労働省ホームページより一部抜粋

センターからのお願い

お知らせ

ご注意ください！

♥会員のみなさまへ

・住所、連絡先の変更や、**出産情報**(赤ちゃんの名前や生年月日など)は、必ずセンターにお知らせください。

♥利用会員さんへ

・サポート会員さんへ援助をお願いしたら、センターへ必ず連絡してください。(無届の場合は、保険の対象になりません。)

♥サポート会員さんへ

・活動報告書は、翌月の5日までの提出となっております。ご協力をお願いします。

・お引越しなどで、センターからの文書が宛先不明で返ってきたり、連絡がとれない場合は、退会処理をさせていただきます。

・子どもさんが産まれても、センターに登録がないとサポートの対象とならない場合がありますので、必ずセンターにご連絡ください。

・登録された子どもさんが小学校を卒業(子どもさんに障がいがある場合は18歳まで)された方は、退会の手続きをさせて頂いております。



【問合せ先】

社会福祉法人 鹿屋市社会福祉協議会 (鹿屋市ファミリー・サポート・センター事務局)

〒893-0009

鹿屋市大手町1番1号 リナシティかのや 2F 鹿屋市市民交流センター 福祉プラザ内

電話：(0994)44-2277 FAX (0994)44-7757

Eメール：fami-suppo@kanoyasyakyou.jp

センター開設時間 9:00～17:00/月～金 (土日・祝日・年末年始は休みです)